

令和八年 第三回

七宝会公演

能 「草薙」 辰巳 和磨

狂言 「口真似」 善竹 隆司

能 「松風」 石黒 実都

村雨と聞きしも
今朝見れば
松風ばかりや残るらん

神劔の守る神となる
これ素戔嗚の
神霊なり

◆ 9月27日(日) 12時半 開演

◆ 枚方市

総合文化芸術センター本館
関西医大小ホール



最も古典にして、
最もアヴァンギャルドな芸能
能楽をみなさまに

七宝会

主催/公益財団法人友愛会

令和八年 第三回 七宝会公演



七宝会

【番組】

能 「草 薙」

日本武尊 辰巳 和磨 大鼓 辻 雅之 太鼓 上田 慎也
橘 姫鶴田 航己 小鼓 久田陽春子 笛 赤井 要佑
恵心僧都 喜多 雅人
熱田の 善竹 隆平
住人

狂言 「口真似」

太郎冠者 善竹 隆司 主 小西 玲央
客 上西 良介 後見 上吉川 徹

能 「松 風」

松風の 石黒 実都 大鼓 大村 滋二
亡霊の 柏山 聡子 小鼓 上田 敦史 笛 野口 亮
旅 僧 江崎欽次朗
須磨の浦 善竹 忠亮
住人

- 日時 令和八年九月二十七日(日) 十二時半 開演(十二時 開場)
- 会場 枚方市総合文化芸術センター本館 関西医大 小ホール
- 料金 指定席 5,000円 自由席 3,500円 学生 2,000円

◆スマホde解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が始まりました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。

【解説】

◇ 能 「草 薙」 くさなぎ

比叡山の僧が草花の名前を問うていると、草花を売る里の男女が現れ、草木と人間の関係や仏法を説き、「色々の草木の数は」と謡い舞う。僧が正体を尋ねると、男は草薙の神剣を守る神、女は延命の仙女と明かす。七日の結願の夜、日本武尊の霊と、橘姫の霊が現れ、草薙の剣のいわれを語り、御代を寿ぐ。宝生流のみの曲目でございます。

◇ 狂言 「口真似」 くちまね

酒をもらった主人が、家来の太郎冠者に「気の利いた酒の相手を呼んでくれ」と頼む。しかし、太郎冠者が連れてきたのは大の酒飲みで、主人は自分が酔って粗相をしないよう、太郎冠者に「自分の行動や言葉を全て真似するように」と命じるが…。

◇ 能 「松 風」 まつかぜ

僧が須磨の浦を訪れ、海辺にある美しい松の謂れを尋ねる。土地の者から、その松は「松風」と「村雨」という二人の海女姉妹の墓標であると教えられる。その後、月夜のなか、姉妹の亡霊が塩汲み車を引きながら現れる。二人はかつてこの地に流された在原行平に寵愛され、幸せな日々を過ごしていた。しかし行平は都へ帰り、二人は恋の悲しみを抱えたまま亡くなってしまう。僧が二人に宿を借りて回向をしようと、松風は行平を恋慕うあまり正気を失い、松の木を行平と見間違え狂おしく舞う。やがて夜が明けるころ、松風は妄執に悩む身の供養を僧に頼み、ふたりの海人は夢の中へと姿を消す。そのあとには村雨の音にも聞こえた、松を渡る風ばかりが残るのだった。

◆ 令和八年 七宝会年間会員について

- 年会費 13,000円
- 年間4公演のうち、普及公演を除く3公演の指定席代金15,000円を13,000円でご提供いたします。
- 発売・予約開始は、会員は60日前(一般は50日前より)。
- 年度途中からでも会員にお申し込みいただけます。

宝生流 七宝会

〒572-0009

大阪府寝屋川市末広町11-8 辰巳方

TEL 072-831-3206

FAX 072-832-5115



枚方市総合文化芸術センター 本館
関西医大 小ホール
大阪府枚方市新町 2-1-60

京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分